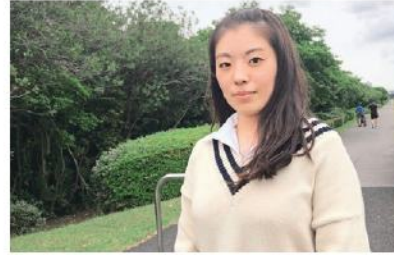


Messages from Our Students and Alumni



慶應義塾大学文学部卒業
ヤフー株式会社勤務
和田 董

充実した授業カリキュラムと教室を飛び出して学べた経験は、英語力だけでなく、毎秒変わるウェブマーケティングの世界に常に立ち向かう積極性をくれました。その先のワクワクを常に想像しながら、素敵な高校生活を送ってください。



千葉大学
教育学部英語教育コース
開地 美羽

10週間の語学研修では、改めて1日1日の大切さを感じることができました。初めてのホームステイは、驚くことも多く大変でしたが、英語だけでなく、人としても成長することができたと思います。英語科では、仲間と共に成長し、励まし合いながら3年間を過ごすことができました。



東京外国語大学
言語文化学部トルコ語専攻
蓑輪 由芽

語学研修、かたばみ祭などの行事では仲間と協力する大切さに気付かされました。受験期も周りの友人とともに切磋琢磨しながら乗り越えました。本格的に受験勉強を始めたのは高3の春でしたが、友人や先生のサポートのおかげで無事合格することができました。



1年留学 ニュージーランド
上智大学 文学部新聞学科
渡邊 真衣

私にとっては、初めての海外経験がニュージーランドへの約1年間の留学でした。憧れていた海外に留学、それは自分が思い描いていたものとは180度異なるものでした。言葉や文化の壁、ロックダウンの日々、たくさんの困難に直面しました。しかし、これらの困難が英語力だけでなく、自分で考えて行動する力や自分の将来についてよく考える機会を与えてくれました。また、留学中に会ったホストファミリーや友人との時間は大切な宝物です。このような貴重な時間を支えてくださった学校の先生や両親、友人には本当に感謝しています。



1年留学 ニュージーランド
立教大学 経済学部経済政策学科
釣 風葉

1年留学に興味があり、江戸川女子の英語科に入学しました。最初は文化の違いに少し戸惑いましたが、それを受け入れ、今しかできない貴重な体験をしようという強い思いで、楽しく1年間を過ごすことができました。現地の子は皆とても優しく、私のこともすぐに受け入れてくれました。そのおかげで、日本語にあまり関わらずに生活ができ、英語力向上につながりました。ホストマザーの徹底した環境に優しい生活の中で、ニュージーランドの環境問題に対する姿勢を学ぶことができ、今後の課題を見つけることができました。



1年留学 ニュージーランド
英語科6年 山中 美和

4歳までグアムに住んでいたため英語は少し話せたのですが、長期で現地校へ行って自分の英語力をもっと伸ばしたかったので、ニュージーランドへの1年留学を希望しました。ホームステイは初めて経験したのですが、家庭では子供でも洗濯や掃除、朝食・昼食作りは自分でやる、学校は講義が中心ではなく、PCを使って自分で調べてレポートを書くというのがニュージーランドのスタイル。語学だけではなく自主性もしっかり身につきました。



English as an International Language

We Have Been Making a Difference Since 1986

江戸川女子 高等学校

国際英語科



Edogawa Girls' Senior High School

江戸川女子高等学校 〒133-8552 東京都江戸川区東小岩5-22-1 Tel.03-3659-1241 Fax.03-3659-4994 <http://www.edojo.jp>





EIL English as an International Language

国際英語科 令和7年度より英語科から変更

教育目標

世界を舞台に活躍できる人財の育成

- ▶ 多角的な視野を持ち、異文化・多様性を理解する
- ▶ 実践経験からの発見、成長を通してチャレンジを恐れないマインドセットを養成する
- ▶ 国際語である英語をツールにした将来像・キャリアを描く

特徴

習熟度別の英語の授業

Advanced Class(英検2級以上), Standard Class(英検準2級以上)
英検準1・1級、IELTS 6.0以上(海外・国内トップレベル大学入学レベル)を目指します

グローバルスタディーズ(オンライン授業中心)週2時間(4年～6年)

英語のスキルを最大限に生かすために、様々な分野の知識を深め、多角的な視点から考え、国際的な視野を広げることを主眼とします。毎時間、外部からの講師(対面、オンライン)による授業が行われます。

例:英語による探究プログラム(リサーチ、プレゼンテーションのスキルアップ)、海外で支援活動をしているNPOとのオンライン交流、様々な国のオンラインツアー、学生との国際交流、未来のビジネスリーダーシッププログラム(テクノロジー、金融、ビジネスなど)



U.S. Dual Diploma Program

U.S.デュアルディプロマプログラム(希望者)

江戸川女子高等学校に通いながら、アメリカの名門高校卒業資格を同時取得するオンラインプログラムです。

2023年度
スタート!

週7時間程度の自宅でのオンライン授業(英語)によるセルフスタディプログラム。一定以上の成績(本校3.5(5段階)、本プログラム2.5(4段階)以上)を取るにより全米大学ランキングトップ5%の18大学への推薦入学(100%入学)が認められる他、全米200校以上の大学が加盟する給付型奨学金制度(授業料最大60%免除)の参加資格を得ることができます。



世界大学ランキング上位に
ランキングしたパートナー大学10校

マサチューセッツ大学アムハースト校
ユタ大学
イリノイ州立大学シカゴ校
ゴンザガ大学
アメリカン大学
カンサス大学
サウスカロライナ大学
フロリダ・インターナショナル大学
セントラル・フロリダ大学
オーバン大学



英語科主任 熊川 美帆子
Mihoko Kumakawa

〈受験生へのメッセージ〉

真の英語力を身につけるためには？

真の英語力 = 英語のスキル × 知識・経験

英語の4技能(読む、聞く、書く、話す)という言葉がありますが、英語力はその総合力です。まず、自分に欠けているスキルを補い、バランスよく総合力を伸ばしていくことが大事です。しかし、4技能がバランスよく身につけば、英語が使えるというわけではありません。海外経験や、英単語・英文法の知識が豊富であっても、十分英語が使えるようにはなりません。真の英語力とは、豊富な知識、経験に基づくものであり、これを修得することが国際英語科の目標です。

国際英語科の生徒たちには、英語の勉強は言うまでもなく、他教科にも熱心に取り組み、多方面に興味を持ち、視野を広げて欲しいと思います。また、部活動、行事、海外研修などに積極的に参加することにより、様々な経験が積み重なることでしょ。学校生活の中にムダなことはひとつもありません。可能性の種に満ち溢れています。本校は、生徒たちがこのような知識、実体験に裏付けされた真の英語力を身につけ、将来の可能性を大きく広げることに最大限のサポートをします。

Experience the World

海外研修



Australia

オーストラリア課題解決型研修(2週間程度)

単なる語学研修ではなく、グローバルスタディーズの一環として事前に設定した社会課題に対して現地のリアルを視察する課題解決型プログラムです。他国からの留学生とのディスカッションを通してグローバルな視点から思考し、発信する力を養成します。



New Zealand / Australia

ニュージーランド、オーストラリア1年留学

ホームステイをしながら現地の高校に通学し、授業を4学期間(1年間)受けます。現地校の学生と同じ授業を選択し、同じ制服を着て、現地校の生徒として活動します。留学期間の取得単位は江戸川女子の単位として認定され、帰国後は6年生に進級します。



New Zealand

ニュージーランドターム留学(10週間)

ホームステイをしながら現地の高等学校の授業に合流します。自分で考え、発信し、行動することが求められるため、積極的な姿勢が身につきます。また、英語で他科目を学習するため、物の見方の違いを体感することができます。



The United Kingdom

イギリス語学研修(4週間)

ホームステイをしながら語学学校に通います。レベル別にクラスを分けて、身近な素材を使いながらレッスンを進めます。滞在するチェルトナムは、英国で最も美しい穏やかな場所で、ヨーロッパからの留学生と同じクラスで学習できるのも魅力です。



海外研修インタビュー(6年英語科)

※2023年度は以下の4ヶ国で研修を実施しました。

●松井 沙樹 (カナダ)

ホームステイや語学学校のクラスで生きた英語を学ぶことができました。授業の内容は社会問題についてのディベートやスピーチで、中でもクラスのコロンビア人の発言する姿には大変心を奪われ、自分の意見を自信を持って伝えること、自分を持つことの大切さを学びました。この経験をバネに、失敗を恐れずに積極的に挑戦していきたいです。

01



●森山 侑衣 (フィリピン)

日本で学んだフィリピンは実際の状況とどう違うのか、見てみたいという思いがあり、フィリピンを選択しました。英語を勉強する時間は1日計10時間以上!最初は慣れず、苦労しましたが、休日は印象深いイベントが多く、特にスラム街を訪ねたときは日本との違いに圧倒されました。とても忘れ難く、濃い8週間を過ごすことが出来ました。

02

●李 宇浙 (イギリス)

ヨーロッパに行くことが初めてで出発前はかなり緊張していました。ですが着いたときにホストファミリーが快く迎えてくれて安心しました。家では毎日リビングに行きホストファミリーと話したり、学校で海外出身の子と話したりとにかく英語尽くしの8週間でした。毎週末の観光でいろいろなところに行くことができたのも貴重な経験でした。

03



●石川 日菜子 (ニュージーランド)

ニュージーランドの現地校で実際に授業を受け、最初は話される英語のスピードに慣れず苦戦しましたが、日数を過ごすうちに聞き取れることが増えました。クラブ活動にも参加し、英語でコミュニケーションをとるものの難しさを感じました。異文化に触れることで自分の成長が感じられ、友人もできて、とても充実した10週間でした。

04

